

学力を身に着けて多様な選択肢のある人生を歩もう
—あきらめたらおしまい。自分の人生は自分の力で切り開こう—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q : 「学力」とは何ですか。

A : (1) 「学力」とは何か。この 2 文字の漢字をじーっと見ていると、その意味がわかります。
そうですね。「学力」とは「学ぶ力」です。

(2) では、誰が「学ぶ力」を身に着けたらよいのか。それは「自分自身」ですね。

(3) 私は、「学力」とは「自分自身で学ぶ力」だと考えます。

Q : 人は何のために学ぶのですか。何のために自分の力で「学力」、「学ぶ力」を身に着けたほうがよいのですか。

A : (1) 人生における選択肢を増やすためです。選択肢を多様にするためです。「多様な選択肢のある人生を歩む」ための学力を身に着けるために学ぶのだと私は考えます。

(2) 現代は世の中の動きがとても速く、自分の力で次から次へと新しいことを学び、それらを身に着けなければならないことがあります。

(3) 世の中の新しいことすべてを自分の力で学び、それらを身に着けることはできませんが、自分の望む生活や自分の就きたい仕事に必要なことは少しずつでも自分の力で学び、身に着けることが大切だと考えます。

(4) 自分の望む生活や自分の就きたい仕事をするために自分の力で学ぶ。学ぶ力、つまり学力を身に着けて多様な選択肢のある人生を歩むことが大切かと思います。

Q : では、どのように学んだらよいのですか。

A : (1) 教科書を自分の力で「理解」することです。そこに何が書かれてあるかを自分の力でわかる努力をする。

(2) どうしてもわからないことがあれば、「辞書」を用いて意味を調べる。

① 辞書で調べた意味は「ノート」に書き写す。

② そのことばと正確な意味を、何回も音読練習したり、書き取り練習したりして覚えることです。

③ 「ことばは力」です。

④ 知っていることばの数が多ければ多いほど学力は高まります。

⑤「辞書」を用いてわからないことばを調べ、調べたことばはすべて身に着けましょう。

(3)一度学んだことは、「音読練習」と「書き取り練習」、「計算・問題練習」を繰り返し行って正確に身に着けること。

(4)このために「いつも教科書を1ページ目から音読し直し、その日に勉強すべきところを学ぶ」、これを習慣づけることをお勧めします。

Q：最後に一言どうぞ。

A：学力の高い人に共通していることは何か。2つあります。

(1)その1つは、「学び方」を身に着けていることです。

(2)もう1つは、「読書による思慮深さ」を身に着けていることです。私のお勧めする読書は、精読と速読の併用です。

①1か月に1冊はゆっくりと精読を

②1週間に1冊はどんどんと速読を

＊気に入ったことば「書き抜き読書ノート」に書き写し、繰り返し読む。

(3)新聞を毎日読み、考える力、批判的思考能力を身に着ける。

(4)「教育ある人とは、一生学び続ける人」

(5)「一生勉強、一生青春」

(6)「健康第一(心の健康、身体の健康)」を

以上

